

**真の幸せの基準(ルカ 4:16-30)**

人々はそれぞれ幸せの基準を持っていますが、真の幸せの基準は何なのでしょう。今日の聖書箇所から神様のメッセージを受けましょう。

**1. 人の真の不幸は何かがあると幸せの基準は変わる。**

真の不幸が分かっていないので、自分なりに愛情、健康、豊かさ、認められることが幸せの基準になっていて、自分なりの幸せがないので、家庭環境、障害があること、病などが不幸だと思っています。人間の真の不幸は、そのようなものではありません。

1) 創世記 1:27、28

たましいのある神のかたちに創造され、神様とともにいるべき唯一の被造物である人間は、神様とともにいてこそ真の幸せです。その幸せがあるので、神様の祝福を受けていました。

2) 創世記 3:1-6、16-19

そのような人間が、悪魔に誘惑され、罪を犯して神様を離れました。神様を失ったことが不幸です。それゆえ、うめき苦しむ問題が生まれました。人間関係、家庭のトラブルも始まったのです。土地ものろわれたので、食べて行くために苦勞して、疲れて重荷を負う者となりました。そして死んで、土に帰ってしまいます。

3) ローマ 3:23、ヨハネ 8:44、エペソ 2:1-3

幸せの根源である神様から離れ、すべての人は神様の栄誉を受けることができず、完全に遮断された暗闇にいるようになりました。その結果、悪魔に属して、たましいは死んでいるので、どんなに幸せを求めても、世の流れに流され、悪魔に従い御怒りを受けるべき子となったのです。存在そのものが不幸です

4) マタイ 11:28、使徒 8:4-8、ルカ 19:16-32、ヘブル 9:27、1コリント 10:20

どんなに努力しても疲れて重荷を負い、心、精神は病み、からだも病になります。人生がむなしく、努力して成功してもむなしいのです。死んだあとは、さばかれる滅びの運命です。そして死後は、死んだ者を拝む文化を子孫に残すので、悪霊に仕えることになり、子孫代々滅びます。死んだ人にこだわることは、悪霊にやられることなのに、良いこととして、文化にもなっています。

5) 宗教、偶像崇拜、シャーマンでよりひどく

答えがないので宗教を通して抜け出そうとかがきます。シャーマンや占いに頼りますが、出口がないので、解決できません。

6) 創世記 3:15、出エジプト 3:18、イザヤ 7:14

このような人の真の不幸を分かるなら、希望となる幸せの道はただ一本しかないと分かるでしょう。神様が約束してくださった、女の子孫が蛇の頭を踏み砕き、罪を身代わりになって贖いの犠牲のいけにえとなってくさる以外は、希望はありません。インマヌエル(神がともにおられる)としてのいのちとなる道、キリスト以外には、希望はありません。

7) イスラエル-キリスト不必要

今日の聖書箇所に出て来た親戚や家族は神様から選ばれたイスラエルであると自負していましたが、キリストが必要だと思いませんでした。

**2. イエス様をキリストと見られないことこそ不幸である。**

不幸を破り、真の幸せにする道であるキリストであるイエス様を見ることができないことが不幸です。幸せと不幸の基準を改めましょう。

1) もし人間的有利がイエスをキリストとして見ることができなくさせるなら、それが不

幸です。

①イエス様の家族や親戚

②選民、律法、奇跡、導き…

③知識、教養、人柄、バック、富…

良いことで、かえって高慢になり、キリストが必要だと気づかないなら、それはのろいのです。

④ピリピ 3:8

パウロは、自分にあつた良いことや誇りが、キリストが必要だと見ることができなくさせると気づいて、ちりあくただと告白しました。キリストが基準です。

2) もし人間的不利が、イエス・キリストが必要だと見る道具、材料になるなら、それは祝福です。

①異邦人のやもめ

イスラエルの人から見たら、論外であった人ですが、キリストが必要だと認める信仰を持っていたので、そこにのみエリヤが遣わされました。

②異邦人のナアマン

イスラエルから見たら異邦人でしたが、キリストが必要だと見る材料になったので、祝福

となりました。

③貧しさ、病、無学、疎外、失敗…

そのようなものは、絶対不可能だと、問題に気づく材料になります。キリストに近づいて、イエスがキリストだと告白する材料にして感謝しましょう。

④1 コリント 1:26、2 コリント 11:30、12:9-10…パウロは、自分の弱さを誇りとしました。

幸せと不幸の基準を変えましょう。そうでなければ、古きやぐらが崩れません。

私にある心の傷、不平不満の要素、比較意識、劣等感、落胆等のすべて不利なものを「絶対解決不可能な問題」を見る材料にしましょう！「キリストが絶対必要」と認めるサインと受け止めましょう！それで、「イエス様はそのキリスト」と告白し、不利なすべてを感謝に変えて、自分は幸せ者と確信し宣言しましょう！条件の有利不利ではなく、イエス様をキリストと告白するかしないかにより幸せは左右されることを肝に銘じましょう！

**1 部-ルカ 4:16-30 真の幸せの基準**

なるほど/人の真の不幸がわかれば、条件の有利不利ではなく、キリストを必要とするかしないかが幸せの基準になり、イエス様をキリストと信じるこそ真の幸せなる。ならば/自分の人間的な不利をすべて「キリストが絶対必要」と認める材料にして、「イエス様はそのキリスト」と告白し、すべての不利を感謝に変え、自分は幸せ者と確信し宣言しよう！

**2 部-マルコ 4:1-34 落胆のない神の国**

なるほど/いくら反対され無視されても、神様は現場に絶対弟子を用意してその弟子を中心にいのちの運動と御言葉の運動を行われ、伝道運動が地の果てまで拡散されるように実を結ばれるので、神の国に落胆はない。

ならば/どんな状況でも落胆せずに、自分の中にイエスのいのちがあることを覚えて神の7つのやぐらが建つように祈ろう！気になる人から順に、サタン12戦略に照らして分析しよう！絶対弟子を信じて福音の種を蒔き続けよう！